

竹村ほまれ 後援会だより

2013/8/1 No 009

後援会責任者 林高文 83-0341

竹村ほまれ連絡先 Fax: 81-4371

携帯: 090-6545-2254

HP: <http://homare.ina-ka.com/>

ブログ: [竹村ほまれ](#) と入力し検索を

参議院選挙の結果は

猛暑や急変する天候で、山岳遭難や降雨被害も各所で発生しており、台風シーズンに向かう中、今後の自然災害も心配されることだろう。

先の参議院選挙では、政権与党が過半数を上回りました。しかし政権与党に全てを委ねられたかという点、国政に期待できないという諦めからの著しい投票率の低下や、対立軸への期待が日本共産党の躍進となって表れています。

確かに「どうにもならない民主党時代の閉そく感の打開や、政権安定を希望する票が、アベノミクスへの生活改善への淡い期待となって自民党に投じられたのも事実です。しかしそれらの得票も、安倍政権が推進する原発を再稼働し、更に世界に拡大する「二国間」も、憲法を変えて戦争が出来る国「open」にも、国益も担保されないままTPPに参加する「一」とも、消費税を増税して、社会保障を後退する「二」と等も合わせて容認したわけではありませぬ。与党には、重く受け止めて欲しいものです。



原発を無くし、平和憲法を守ろう！宣伝

市長と語ろう会 (中沢区)



6月議会も終え、各地で「市長と語ろう会」が開かれました。中沢区では会場いっぱいの参加者に、市長は当市が全国で44番目という住みよさランキングが上位に入る一方で、税収や将来負担比率が下位にある状況を報告しました。市民からは高齢者対策や医療問題、駒ちゃんバスの廃止に伴う不便さや、テマンドタクシーの利用改善等：喜らし向上を願う声等が寄せられました。名実ともに住みよい駒ヶ根市にしたいものです。

☆6月議会「ほまれ」が市政を質した課題は

6月議会の一般質問

☆緊迫化する、TPP

参加表明の動向・影響は

質問 農産物関税の除外や6項目の国益を守るとした、公約が担保されないままに、TPP交渉が進められている。アメリカのいつまに譲歩を重ね、経済主権も食料主権も放棄し、日本を丸ごと売り渡すことに繋りかねない交渉参加には、断固反対すべきだが市長の基本的立場は。

全容が見えない中での交渉参加には反対

市長 十分な対策が無いまま交渉に参加し、関税等の国境措置が撤廃されると、農業生産額や食料自給率また農業農村の多面的機能の維持存続が、根底から揺るがされる。全容が見えない中での交渉参加には反対する。

☆当市の影響と試算は

質問 農業に限らず食の安全や医療、公共事業、雇用国民皆保険など、TPPが及ぼす影響は、各分野に多岐にわたるが、当市の影響をどのように考え、また試算しているか。

国の試算同様大きな

影響が予想される

市長 13億円の生産額を占める米が対象となった場合、農家収入の激減と中小規模農家の意欲の衰退、原風景や山村の多面的機能、また我が国のあらゆる産業分野、更には地域経済など多大な影響が懸念される、具体的な試算は困難であるが、国と同様大きな影響が予想される。



☆国への働きかけは

質問 TPP参加を撤回させることは、田園や伝統文化を守り国民の暮らしや営業を守ることに必要と考えるが、市長会を通して国に働きかけていく考えは。

交渉進展に応じて対策

市長 全国市長会は、各分野への懸念が現実とならないよう万全の態勢で臨む趣旨で国に働きかけている。市長会と連携を取り、交渉の進展に応じて、必要な対策をとる。裏面につづく↓

竜東振興を総合計画 に位置付ける考えは

☆第4次総合計画への 竜東の位置付けは

質問 竜東の地域性と、多くの課題で地区全体を見渡せる地域と違う特殊性を考えたとき、過疎化から脱却し若者が定住出来る活力ある竜東振興を考える上で、第4次総合計画に明確に位置づけるべきと考えますが、
解は。

駒ヶ根市全体を面と捉え

市長 点と捉えるよりも面と捉えて地域の特性を生かした施策を展開することがベターだ。政策や施策として竜東振興を位置付けることは、全体の構成上馴染まない。



☆竜東活性化の考えは

質問 市で直接或いは間接的に管轄する竜東の公共施設や文化施設、市有林、公園などがいくつもあるが活かされていないとはいえない。施設を活かした竜東活性化の考えは。

あるものを活用し連携

市長 今あるものは是非活用する中で、連携を取っていくことが必要と思っている。地区担当の職員もこの中で、地域の課題を地区の皆様と熟度の高いものにしていき、地域の活性化にしたい。

☆「6次産業」の

推進と方策は

質問 農業を取り巻く環境は、10年後の地域農業の姿が描きにくくなっている現状がある。当市も農業を生かした新たな付加価値を産む成長振興策と期待される「6次産業」を、更に市として後押しする施策の考えは。

リーダー育成に支援

市長 農作物に付加価値をつけることを目指した農商工の連携など、新たな地域農業の開発と地域産業の活性化を図っていきたい。6次産業化の成功は、現場のやる気と、アイデア工夫など兼ね備えたリーダーの存在がポイントである。育成に積極的に支援をしていきたい。

多角化経営を

後押しする施策を

※ほまれ 6次産業はアイデアや知識、リスク管理、経営センスもいる。市が積極的に全国の先進事例や、起業をアドバイスする学習会や説明会、窓口なども開いて、多角化経営を目指す農業者を後押しする施策を打ち出して、10年後の地域農業の姿が、希望の持てるものに変えていく先頭に立つよう要望する

6月議会請願と陳情

○ 請願

- ◆長野地方裁判所支部における労働審判の開設に関する請願
- ◆義務教育国庫負担制度の堅持を求める請願

◆国の責任による、35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願。
以上請願3件は
全会一致で採択され意見書の提出

○ 陳情

- ◆TPP断固反対に関する陳情
全会一致で採択→議運にてTPP
「において国益遵守を求める意見書」と題名変更して意見書提出
- ◆農作物被害対策に関する陳情
全会一致で趣旨採択

- ◆国に対して、消費税増税中止の意見書を求める陳情
- ◆不採択 採択1名、不採択5名)
※竹村誉委員は、採択に賛成しましたが、その他の委員により不採択に。
- 継続審査となっていた陳情
- ◆ごまちゃんバス継続要望と
提案についての意見書は

不採択 継続1名、不採択5名)

※竹村誉委員は、継続して審議するべきと主張しましたが、不採択に。

議員提案の意見書

国に対して、消費税増税中止の意見書を求める陳情」が不採択になったのを受け、共産党会派は、消費税増税中止を求める意見書」の議員提案を今議会に提出しました。

不採択 採択2名、不採択12名)

※竹村誉議員が提案説明、坂本裕彦議員が賛成討論をしましたが、増税賛成の議員により不採択に。採択に反対した議員は、国家財政にとって消費税の必要性を訴えて反対討論。

駒ヶ根消防団が大活躍



7月14日に行われた上伊那郡消防ポンプ操法大会に於いては、当市は全種目で入賞を果たす活躍をしました。小型ポンプの部では「小町屋」の機関が操法時に降った雷雨をものこもせず、準優勝。ポンプ車の部では「菅沼」の機関が朝一番のフレッシュャーを跳ね除け、3位入賞。ラッパ吹奏の部では駒ヶ根市が連覇を続ける辰野町を脅かす吹奏を見せ準優勝しました。団員の皆さん、ご苦労様でした